

令和5年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2023007

プロジェクト名 きみは正しい判断ができるか!?「防災脱出大作戦!!」



プロジェクトの概要

近年、防災に対する認知や関心が高まりつつある。そこで、このプロジェクトは、子供や地域住民が楽しく防災について学ぶことを目的とし、『避難×脱出ゲーム』の防災を絡めた防災学習イベントを企画しました。実際の避難をテーマとし、迷路で避難に関する問題に答えつつ、脱出を目指してもらった内容である。防災に対する意識や興味を持たせ、安全の確保や災害時の工夫など地域住民を巻き込んだ防災や避難について楽しく学べる機会を創出する。(205)

プロジェクトの結果・成果

私たちは習志野市消防署、習志野市消防団第5分団の協力のもと、2023年10月29日に生涯学習施設『プラッツ習志野』にて当プロジェクトを実行した。当日の参加者は、子供は172であり、家族として参加していただいたのは105世帯ほどであった。実行するまでにあたりzoomを用いて会議を重ね、当日の段取りや消防署、消防団、小学校へのアポ取り等を行った。

『避難×脱出ゲーム』をテーマとして迷路・停電・迷路・消火の4つの体験ブースに分けて行った。

『迷路』は避難をベースとして避難の仕方を2択の問題でゴールを目指すものであり、子供たちは考えながら時には間違えたりしながら楽しくゴールしていました。『停電』は災害時の停電を想定して、どうやって部屋を明るくするかを体験するもので、暗い部屋の中でライトを使って部屋を明るくし、部屋の中のキーワードを探していくものである。ライトにかざすものによって明るさが変わることによって驚いていました。『救護』はテコの原理で荷物を動かして、人形を助け、木の棒と衣服でタンカーを作り運ぶ体験のもので、子供の力でも重いものを動かすことができることや、タンカーを身近なもので作ることができることに参加者の方々が驚いていました。『消火』は消火器を使っ的に向かって放水をする体験で、消防署に機材を借りて行いました。また、レクチャーに関しては消防団の方々に協力していただきました。

最後に各体験ブースでハンコを押してもらい、4つの体験ブースをクリアした参加者に自作したキャラクターのシールをプレゼントしました。

当プロジェクトを通じて、学部を超えた交流ができ、さらには子供たちや地域住民と共に楽しく防災について学ぶことができました。

活動写真

